

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

久御山町不登校児童生徒未然防止プラン事業

事業の経過・背景・課題

本町の不登校児童生徒は増加傾向で、その出現率を山城管内の学校の平均と比較しても高い状況となっている。また、本町の小・中学校で比較すると、令和3、4年度ともに、中学校は小学校の3倍以上である。

不登校の原因は、学習や友達関係、家庭での悩みごとなど様々であるが、学校ではそれらの不安を担任が中心となって見取りを行い、時には組織的に対応することが求められ、臨床心理士やSSWなどとも連携を密にしていける必要がある。さらに、保護者が抱える不安や問題などにも丁寧に対応することも不可欠となっている。

また、本町の児童生徒の特長として、見る力・聞く力・見えないものを想像する力などの認知能力に課題がみられ、特に不登校児童生徒は小学校段階から日常生活でも苦勞し、自信や意欲等の非認知能力の向上にも影響があることが考えられている。そのため、小学校段階から学びに向かうための基礎的な力の育成が求められる。

取組内容

交付実績額： 2,893 千円

- ・臨床心理士、SSWの活用
 - 児童生徒やその保護者の困りごと等について、丁寧に寄り添い早期に発見し早期に対応していく。
- ・「コグトレオンライン」（認知機能に着目した包括的支援プログラム）のデジタルコンテンツを導入
 - 記憶力・聞く力・見る力・集中力・想像力・読む力等の認知機能を高める。
- ・今後は、児童生徒の日々の心境の変化を早期に発見するため、これまで以上に丁寧に児童生徒の見取りを行えるように「スクールライフノート」の活用等の取組を検討する。

事業の成果・今後の展望等

- ・未然防止・課題解決を図るために、臨床心理士・SSWによる専門的な知識を活用することにより、児童生徒を取り巻く環境改善がみられるケースが増加した。
- ・記憶・注意・言語理解・知覚・推論・判断などの学習の土台とされる認知能力を効果的に向上させ、自信や意欲等の非認知能力の向上につながった。今後も継続的な取組により効果が図られると考える。

問い合わせ先

久御山町教育委員会学校教育課（075-631-9974）